

青
簾
号

Shouji

発行者: 寶積英彦, 埼玉県狭山市水野 594 番地, 編集長: 関口 歩 企画編集: 広報紙編集室,
ホームページ: www.syojukai.or.jp メール: syojukai@mirror.ocn.ne.jp



ホームページ ブログ



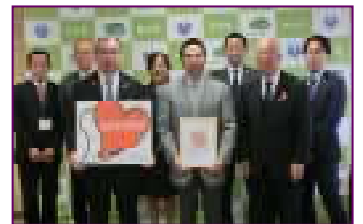
尚寿会・尚栄会によろこそ! ~2019年度入社式~

今春も尚寿会と尚栄会に様々な職種の仲間が加わり、新年度初日4月1日に入社式を開催し、4月3日には新人オリエンテーションを実施しました。入社式では、フレッシュな仲間たちに向けて寶積理事長より歓迎のあいさつを頂きました。また、各セクションの責任者より「人生に中でも大切な就職先に、尚寿会・尚栄会を選んでくれてありがとう」「共に地域医療を支えましょう」といったお話があり、耳を傾けました。

この法人で働いて良かったと思えるように私たち管理職も頑張ります。共に頑張りましょう! (熊☆)

あいサポート運動 続報! ~狭山市第1号の企業・団体になりました!~

前号でお伝えしました「あいサポート運動」について、尚寿会・尚栄会は、その趣旨を理解して職員研修を取り入れるなど、運動の普及・啓発に取り組んでいることが認められ、平成31年3月に、狭山市では第1号となる「あいサポート企業・団体」の認定を頂き、狭山市長より企業認定証が授与されました。これからも普及啓発活動を展開して行きます。(ちか)



<サポーター宣言> ~あいサポート企業・団体~

- ☆わたしたちは、多様な障がいの特性を理解し、お互いがわかり合えるように努めます
- ☆わたしたちは、日常生活で障がいのある方が困っている場面を見かけたら、声をかけ、手助けをおこないます
- ☆わたしたちは、「あいサポート」バッジを身につけ、気軽に声をかけやすい環境をつくります
- ☆わたしたちは、「あいサポート」の仲間の輪をひろげ、共に生きるよろこびを伝えます

今年もヤットサー! ~尚寿会いきいき連 始動です!~

尚寿会いきいき連は、開院25周年事業として発足し、今年で16年目を迎えました。いよいよ今年も5月から本格始動となります。地域の皆様やご入院・ご入所の皆様へ、さらに磨きをかけた『尚寿の舞』をお届けするべく、5月から8月の毎週2回、尚寿会グループに勤務する職員が、業務終了後に一生懸命練習を重ねています。近隣・地域のお祭りにも参加させて頂きますので、「踊る阿呆、にご期待ください!

いきいき連では、『踊り』『鳴り物』『着付け』等、絶賛新規加入者募集中です。今年入職した職員はもちろん、これまで踊る機会がなかった方も、今年は始めてみませんか? 「ちょっとやってみたいな…」と考えている方、初心者大歓迎! です。お気軽に練習をのぞいてみてくださいね! (むー)

★通常練習日: 毎週月・木 17時30分~18時30分練習場所 大生あさひ間法人駐車場

★今年も尚寿のこいのぼりが、皐月の空に気持ちよさそうに泳いでいます。こいのぼり…仲間募集中!★



宜しくお願いいたします ～あさひ病院医局 高橋 寛 先生～

「このたび、あさひ病院にて勤務することになりました、高橋 寛です。ダイエットをしなければならないと自分に厳しく、それ以上に医療で社会に貢献できればと思っています。よろしくお願い申し上げます。」

お話がとても面白い、気さくな先生です。2階西病棟と月曜日午前の外来を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。(なる)



ついにオープンしました! ～福寿の里 カフェテリア のどか～

昨年3月に開所した特別養護老人ホーム福寿の里内に、4月22日より“カフェテリアのどか”の営業を開始しました。営業時間は、11時30分から16時まで、年中無休で営業予定です。

“カフェテリアのどか”はどなたでもご利用が可能です。特に地域で一人暮らしの方や食事のバランスが気になる方などに、管理栄養士監修のランチを提供、人と会話しながら食事やお茶が楽しめるそんな憩いの場になればと考えています。また、大きな特徴として、医療や介護の現場で働いてきたスタッフを配置し、簡単な医療や介護の相談をお受けすることができる体制をとっています。ランチ営業の終了した14時から16時には、「こんな症状だったら、何科に受診したらいい?」、「介護保険のサービスはどこに相談すればいい?」、「申請の手続きって、どこに相談するの?」そんなよろず相談を、お茶のみ話でできる気軽なカフェをめざしています。



特別養護老人ホーム 福寿の里 施設長 関口 歩

狭山市特定健診ご予約承り中 ～大生病院健診窓口からのお知らせ～

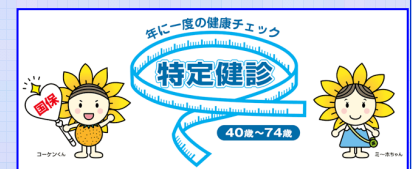
当院では、**特定健診は2つのコース**からお選びいただけます。

○「通常コース」⇒基本的な健診(無料)

○「充実コース」⇒特定健診と各種がん検診を含めた、充実した検査内容です(¥7,807～¥16,807)

料金や検査内容の詳細は健診窓口にお問い合わせください

その他人間ドック・脳ドック・肺ドック・心臓ドックも用意しております。
ご不明な点は、どうぞお気軽に健診窓口にお問い合わせください。ご予約お待ちしております!(大生病院健診窓口 電話 04-2957-1141)



“看護体験”してみませんか? ～ふれあい看護体験2019参加者募集!～

5月12日は「看護の日」。大生病院では、今年も『ふれあい看護体験』を行います。高齢者社会を支えるフレッシュな力が最も求められている昨今、多くの方に現場を見て頂き、実際に職員や患者様とふれあい、イメージを形にして頂きたいと思っております。とてもやりがいのある高齢者看護の現場を体験してみませんか? (熊☆)

日時: 2019年7月29日(月)～8月2日(金) 8:45～17:00(8:30分集合)

土日を除く平日の希望日何日でも可。日時の都合はご相談に応じます。

場所: 大生病院 内容: 看護介護体験・進路相談など

対象: 高校生以上(看護に関心のある方、将来看護職を希望する方)

持ち物: 昼食、食事介助用エプロン、白系の運動靴またはナースシューズ(ある方のみ)

女性は白かベージュのストッキング、男性はズボンベルト

※ユニホームはお貸しします。長い髪は束ねてください。

問合せ: 大生病院看護部長 細田和代 電話04-2957-1141(平日9時～17時)



日中介護交流会 ～将来の外国人技能実習受入へ向け～



昨今、介護業界の人材不足が大きな問題となる中、2017年11月より外国人技能実習制度に介護職種が追加となりました。徐々に外国人介護実習生を受け入れる監理団体や施設、病院が増えてきています。今回、老健 愛で働く張さんからの紹介もあり、「日中介護学会」の方々が愛と福寿の里の見学に来訪されました。日本の高齢化は言わずと知れた問題ですが、中国でもそれは深刻で、60歳以上の高齢者がすでに2億人以上になるのだとか。「日中介護学会」のひとつの目的には、今後迎える中国の高齢化社会に向けて、日本の介護サービスの経験値やノウハウを参考に、日中両国の高齢者の環境を整えることだそうです。

外国人技能実習制度は、日本における介護人材不足の解消と、諸外国の高齢社会へ向けた環境整備。両方がうまく解決できるのであれば、それに越したことはありません。しかしながら課題もあります。言語の問題や実習日数（原則5年）や、施設側の制度改定や受け入れ態勢の整備など、様々な問題が見えてきます。ただ、それらを解決してでも受け入れていかなければ、人材不足の解消が難しい現状に立たされているといわれます。今回を契機に、ますます日中の交流や介護現場の充実につながることを願っています。（なみ）



よろしくお願い致します！ ～2019年度 地域交流推進委員会・親睦会役員紹介～

◎地域交流推進委員会

- 委員長：吉田佳祐（あさひ病院・リハビリ科）
- 副委員長：北田裕幸（あさひ病院・庶務課）
- 委員：栗原久美子（大生病院・医事課）
- 委員：小林敏子（大生病院・診療支援課）
- 委員：高橋知洋（老健愛・通所リハビリ科）
- 委員：米倉直樹（老健愛・看護介護科）
- 委員：小林知宏（福寿の里・生活支援科）

今年度も委員長を務めさせて頂く事になりました。昨年は天候との闘いが続き、イベント中止が相次ぎましたが、実施したイベントを通して、地域との繋がりを感じる発見がありました。今年度は2名の新たな委員を迎え、地域の皆様により楽しんで頂けるイベントを企画・運営していきたいと思っております。尚寿の市をはじめとするイベントの開催時には、皆様の参加を心よりお待ちしております。地域交流推進委員会委員長 吉田佳祐

◎第41期親睦会

- 会長：小村由美子（あさひ病院・医事課）
- 副会長：竹上 快（サト狭山・リハビリ科）
- 会計：佐藤翔太（大生病院・栄養科）
- 会計：土佐沙紀（大生病院・診療支援課）
- 広報：福本健治（大生病院・看護介護科）
- 広報：藤田素良（老健愛・通所小科）
- 広報：菊地明彦（あさひ病院・看護介護科）
- 広報：田原涼子（福寿の里・健康管理科）

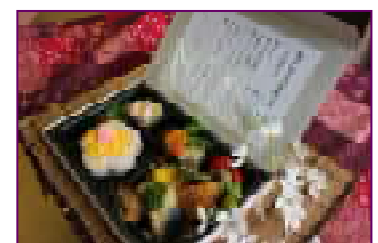
平成から令和をまたぐ本年度の親睦会役員が決定しました。新しい年号にふさわしく、役員顔ぶれも在職年数の若いフレッシュな方々が揃いました。考え方も今風（令和風）に、新しい発想で、目新しいアイデアがたくさん出ることと思います。

これからの1年間、職員の親睦・福利厚生の実を目的として、様々なイベントを企画運営してくれることを期待しています。（なる）

老健 愛 こだわりの花見弁当 ～肌と食で春を感じる野外活動～

各施設でも桜が咲くころには、利用者様、患者様にお花見弁当が提供されます。今回、老健 愛では野外に出て、桜を愛でながら春風を感じ、栄養科こだわりの彩り豊かな花見弁当を楽しみました。ご利用者様は、「何から食べようか」「全部食べたからお腹いっぱい」と、満足された様子でした。

こうした野外活動は、天候にも左右され企画がなかなか難しいのですが、季節の訪れを肌で感じる貴重な時間。ご入院・入所・入居の皆さんにとっては、なくてはならない大切にしていきたい活動のひとつです。（なみ）





蜃気楼 ～放射線科医の仕事～

“放射線科医の仕事”をご存知でしょうか？放射線科医は、内科や外科、耳鼻科、皮膚科などと異なり、世間一般の人にはほとんど知られておらず、放射線科というと、診療放射線技師を思い浮かべる人がほとんどだと思います。一般的に放射線科医は、大病院に勤務することが大半のため、医療関係者ですら知らない人も多いです。

放射線科医は、画像診断医と放射線治療医に大別されます。放射線治療医は、文字通り、放射線を用いて癌を治療するスペシャリストです。最近ではマスコミに取り上げられることもあり、認知度は高くなっています。

画像診断医は、単純写真、バリウム検査、CT、MRI、核医学検査など、各種の画像診断を専門とする医師で、撮影法の指示、画像の読影、各診療科医からのコンサルト業務などが主なる仕事です。その他、特殊な仕事として、血管内治療の一部も画像診断医が担っています。血管内治療とは、細いカテーテルという管を血管（主に動脈）に挿入して、目的の血管まで誘導し、治療を行うもので、癌の治療や出血を止める治療、血管を開く治療などがあります。私も、川越の埼玉医大で長くこの仕事に携わってきました。

放射線科医、特に画像診断医が一般に知られない理由としては、直接患者さんに接する機会が少ないことその他、数多い医療に関連した小説、ドラマ、映画などに主役はおろか、チョイ役もなかったことが大きいのではと思っています。ところがです！つい最近、画像診断医が主役を張る“ラジエーションハウス”なるコミックと、そのドラマ化（4月から放映）の存在を知りました。世間に知れ渡る一歩となる可能性があります。皆さんもぜひ、どちらかご覧ください。



大生病院 画像診断医 長田久人

日頃の訓練が大切です！夜間想定BCP（事業継続計画）訓練 ～老健 愛～

災害はいつなるとき発生するかわかりません。もし夜間に災害が発生したら…と思うとぞっとします。病院や施設には終日人がいる状態です。しかしながら、夜間は少ない人数しか出勤していないため、万が一の災害が起きた際の初期対応は、その人数で対応せざるを得ません。

今回は、夜間に火災が発生したことを想定し、初期消火や緊急通報の流れを実践しました。普段慣れない放送設備の使い方や、消火器の設置場所確認など、改めて実践することの大切さと、この人数でできる初動は何かということを検討する良い機会になりました。（なみ）



有事の時も地域を支える存在でありたい ～あさひ病院井戸水プラント設置～

地震や自然災害は、予期せぬ形で私たちに襲ってきます。平成は災害の年といわれるように、多くの災害が人々の暮らしを奪いました。政府の地震調査委員会が発表した『全国地震動予測地図2018版』の資料では、今後30年間に震度6弱以上の地震が発生する確率は、北海道南東部でリスクが高まっているほか、千葉県で85%、横浜市が82%、水戸市で81%と、関東地方でも高リスクです。ちなみにさいたま市では55%と低めですが、常日頃から防災意識を高めて、家具の倒壊防止策、避難袋の準備、避難場所の確認などを備えておきましょう。



尚寿会では、備蓄庫の設置や、非常発電設備の燃料の確保、大生病院・愛での井戸水プラント設置など、様々な取り組みを行ってきました。昨年末にはあさひ病院敷地内にも、井戸水くみ上げプラントを導入設置して、ライフラインの確保対策を強化しました。ご入院の患者様の療養生活を守ることは勿論の事、近隣住民の皆様への提供も想定しています。災害に対しては、個人での備えも重要ですが、地域社会全体での取り組みも考えなければなりません。被害の長期化を防ぐために、何か必要で有効か。このことを考えつつ、企業としてできる対策を推進して参ります。（なる）

☆青簾号☆あおすだれ号 青簾とは、青竹を編んだ簾のことで、おろしたての新しい簾は、その瑞々しい色もさることながら、香りまで漂い、夏が始まるぞ！って気になります。近頃の家屋では、真新しい青簾の設えはめったにお目にかかりませんが、日本らしい情緒のある居住まいですね。（歩）

